

# 共遊のあれこれ

どんな歩みも 体験も 失敗も 新たな一歩

## 『かきたろう』の観劇会楽しかったね！

劇団「演じーる」さんから、観劇会のお誘いがありました。

柿の実幼稚園のホールに、保育園のお友達も幼稚園のお友達も集まってきました。

演じーるの方々は、柿の実幼稚園の卒園児のママたちが理事長や園長と仲良しになり、縁あって劇団を結成。劇団のお名前は理事長先生が命名。今年10周年の劇団。毎年、オリジナル劇をして下さいます。ストーリーを考え、人形も、背景も、衣装も手作り。お仕事の合間に準備をしてくださり、夏休みに入って練習開始。後半土曜日・日曜日に集中稽古で本番を迎えます。園児のことを思い一生懸命な姿に毎年、感謝いっぱいです。

今年は、10周年とのことで、シナリオに理事長と園長の出番も組み込まれており、ビックリ。理事長は、忙しさと練習ざらいもあり一度皆と合わせただけ。あとは、代役の方が演じてくださったビデオを観て流れを把握し本番に臨みました。劇団員の方々は、はらはらドキドキの連続だったことと思います。劇団員の方々が温かく迎えてくださり、「一緒に楽しみましょう。子ども達が喜んでくれることを願って…」とあたたかいエールを送って下さいました。そして、当日、笑顔の子ども達に出会えた幸せをたくさん感じる事ができました。劇団員、理事長、園長の姿を通して、何か思い出が残り、共有・共学・共遊に繋がってくると嬉しいです。

演じーるの仲間、3名のはじめの一歩保育園の先生が…。水野美沙先生音楽・江川千夏先生美術衣装照明・日隈綾先生「カメ」役。お疲れ様でした。ありがとうございました。はじめの一歩保育園から5人の先生が関わった「かきたろう」のお写真をお楽しみ下さい。



演じーるのみなさん

本当にありがとう！

# 共遊のあれこれ

どんな歩みも 体験も 失敗も 新たな一歩

保育の中での体験の一部です。お読み頂けると嬉しいです。

## 保育士が輝けば、子ども達も輝く

…子ども達が輝く時は、どんな時…

はじめの一歩保育園の子ども達、保育士たちの笑顔・輝きの姿を見つけました。

…全部敷地内で体験した「共遊のあれこれ」のご紹介…

### 「ひまわり」の花のエピソードあれこれ

大輪の花 中くらいの花 小さな花

太い茎、細い茎、背高のつぼの花、背丈の低い花の「ひまわり」

子ども達は、登降の時、ひまわりの花を毎日眺めています。

植物図鑑のページをめくっていると、ひまわりの花のことが書いてありました。

「花が枯れたら、茎から切り取って、紐等でつるし、乾かす。乾いたら種を取ってみよう。」

子ども達は、いろいろを発見しました。いろいろなことに興味を持ちました。

花を切り取ると、「持ちたいー」と…。手にすると、「茎がちくちくするよ」

「重い。こっちの方が重い。これは軽いよ」いろいろな持ち方をして表現してくれました。  
茎の断面はどうなっているのかな？ハサミでは切れません。ノコギリで切ってみました。  
太い幹、細い幹、いろいろあります。地面にトントンと打ちつけてみると、音が違う！

乾燥させると、音が違うのかな？子ども達も保育士も興味津々。

保育室に持ち帰り、いろいろ試してみることにになりました。

2週間たった現在、大分乾燥し、トントンがカンカンに変わってきています。  
もつともつと乾燥したらどうなるのかな…？保育士も童心に返っています。

音だけでなく、茎の断面に穴が開いて来たことを発見。

不思議、不思議がいっぱい…今も観察体験、続行中

花を収穫したその日に、種を早く取りたくてむしり取り始めました。

ポロポロとよく取れます。ほんとうにたくさんとれたと大喜び。

種を一粒一粒触っていくと、中身が入っていない種がほとんどです。

どうしてだろう？ 保育士たちも、なんでだろう？

今、干しているひまわりの種を触ってみると、硬い。中身が入っているようです。

これまた、楽しい発見に繋がりそうです。

ひまわりの種はいくつあるのでしょうか。

今度、子ども達と数えることになっていますが、

あんなに数ある種を子ども達は、どうやって数えていくのでしょうか。

今、保育士は、子ども達に「ある？体験遊び」を楽しませながら、数遊びの楽しさを知らせ  
数に興味・関心が湧いてきたら、「ひまわりの種数え」の挑戦を考えているようです。

保育士のちょっとした、アイデア、工夫には

ワクワクがいっぱい！



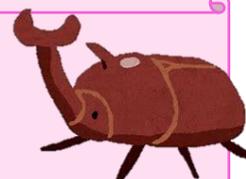
## たまねぎ収穫が、楽しい体験・発見に繋がりに…



皆で掘っていくと大玉・中玉・小玉・極小玉のたまねぎの収穫。  
 「重いよ」「軽いよ」「これ同じように見えるでもどっちが重いのかな」等  
 重さ比べや、大きさ比べの遊びになりました。  
 軒下に干しました。保存の方法を知りました。  
 箱を用意しました。食べ物は大事です。  
 大きい順に丁寧に箱に玉ねぎを入れていくと、全部がきれいに並びます。  
 でも、適当にいい加減に入れていってしまうと、箱には収まりません。  
 皮も散らかってしまいます。  
 箱詰め遊び体験をして、遊びました。  
 そんな発見・体験・食べ物を粗末にはいけないことを知りました。  
 給食さんに、「玉ねぎのお料理をよろしくお願いします」と、届けたり  
 5歳児さんが、お泊り保育で、カレーを作ってくれ、保育園の先生たちみんなにご馳走してくれました。  
 玉ねぎ一つが、いろいろな体験の場。子ども達の真剣に取り組む姿に、  
 涙と笑顔が交差している保育士の姿がありました。



## 網と虫かごを持って出発！



朝のお散歩は虫とり。  
 蝉を捕まえて、鳴き声とセミの種類を確認したら、自然に返す。  
 いろいろな種類の蝉に出会えます。カブト虫も飛んできます。  
 捕まえて、保育室で観察中。力勝負を楽しんでいるカブト虫くんです。  
 これからは、秋の昆虫探しになります。  
 4・5月の頃を思い出します。裏山散歩をして、青虫を探し、  
 飼育・観察。さなぎになって、蝶々になって、  
 子ども達の手から、また自然に戻って行きました。  
 「○○の木にいる幼虫は、○○の蝶々になるんだよ」等よく知っている子ども達です。  
 実体験はすごい！ 子ども達の意欲に繋がります。



## 雨の日、レインコートを着て、森の中を散歩してみたら…



自分の頭の上で、雨がはねたよ。音がしたよ。  
 森の中に入ったら、音がしなくなったよ。  
 葉っぱに雨があたると、宝石がコロコロと転がったよ。転がらない葉っぱもあったよ。  
 葉っぱ光っていたよ。  
 いろいろ、目を輝かせてお話してくれました。



**保育士も童心に戻って楽しむ。自然探検は、魅力がいっぱい**

